

大江山コミ協だより

第 38 号

発行人：山崎 明
新潟市江南区細山 401
令和 5 年 10 月 発行

総会でいただいた意見にそって今回より回覧とさせていただきます。
桜まつりで始まり、6か月が経過しました。さまざまな活動にご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

区長懇談会

7月26日(水)、コミ協役員、各自治会役員等と江南区長との懇談会が開催されました。
江南区長より、今後の公共施設の在り方について貴重なご意見をいただいております、引き続きご協力をお願いしたい。また、コロナが落ち着きイベントが再開している中、地域の皆様の後押しにむけ、よりいっそうの協力をしたい旨の発言がありました。

下記6項目を優先課題として前向きな意見交換が行われました。

- (1) 茗荷谷地区交差点の安全対策について
- (2) 卸売市場の地域活用について
- (3) 阿賀野川河川敷の活用について
- (4) 改善センターの避難所機能の検討について
- (5) 防犯カメラの補助制度の拡充について
- (6) 空き家対策と見込まれる対応について



フリートークでは、県道新潟・亀田・内野線の進捗状況や空き家の樹木対策について話し合われました。

買い物送迎

8月31日、買い物送迎の会議が改善センターで開催され、大淵小学校の6年生(27名)が「大淵地域の課題に取り組む人たち」を学ぶため、会議の見学に訪れました。

子どもたちからは、この取り組みに至った経緯について、地域の課題はどのように議論され解決に結びつけようとされたかなどの質問がありました。また、他の課題についての質問もあり、コミュニティ協議会や地域関係者と積極的な意見交換が行われました。

買い物送迎は令和3年6月から取り組まれています。現在は大淵、三百地、江口自治会へ広がり、参加者は買い物とおしゃべりを楽しんでいます。



災害から命・地域を守る 避難所運営・自主防災訓練を実施

10月1日(日)大淵小学校において大江山地区自主防災会主催の自主防災訓練が実施されました。大江山全自治会と横越地区の一部自治会から婦人、子どもを含む多くの方から参加していたき、皆さんは真剣な顔つきで訓練に取り組んでいました。



(避難所の受付)



(段ボールベッドの作成)

避難所運営訓練です。避難所をまとめる避難所運営委員会は、自治会、区及び施設管理者によって構成されますが、中心となるのは自治会です。



(応急手当:AEDの取り扱い訓練)



(消火器を使った消火訓練)

いざというとき大切な家族を守り、火災から家を守るため、継続した訓練が大切です。



(毛布を使った簡易担架搬送)



(景品付き防火輪投げ)

子どもたちの参加を促すため、カエルの人形の使用や防火輪投げを取り入れました。



- ・私たちの家族・地域は私たちが守ります。
- ・自主防災訓練で私たちの防災力を高めていきましょう。